



紀宝町

議会だより

平成20年6月1日発行（第8号）



宝篋印塔（鵜殿）

議 会 日 誌

平成20年1月～3月

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1月29日 議会運営委員会 | 4日 全員協議会 |
| 2月 8日 「未来につなげる水処理を考える」大会（津市） | 6日 第1回定例会・第1日目 |
| 13日 熊野川流域ダム湖下流団体協議会要望活動（和歌山県庁） | 17日 紀宝町リサイクルセンター竣工式 |
| 14日 教育民生常任委員会 | 18日 全員協議会 |
| 20日 総務財政常任委員会 | 23日 国道42号紀宝トンネル工事安全祈願祭 |
| 21日 全員協議会 | 24日 第1回定例会・第2日目、議会運営委員会 |
| 22日 三重県町村議会議長会理事会（津市） | 25日 第1回定例会・第3日目 |
| 26日 紀南環境衛生施設事務組合議会（新宮市） | 26日 第1回定例会・第4日目 |
| 27日 紀南介護保険広域連合議会（熊野市） | 27日 第1回定例会・第5日目 |
| 28日 議会運営委員会 | 28日 東紀州農業共済事務組合議会（熊野市） |
| 3月 2日 近畿自動車道紀勢線起工式（尾鷲市） | 紀南病院組合議会（御浜町） |
| 紀伊半島一周高速道路実現を目指すシンポジウム（新宮市） | 紀南社会福祉施設組合議会（御浜町） |
| | 紀南特別養護老人ホーム組合議会（御浜町） |
| | 南牟婁清掃施設組合議会（御浜町） |

3月定例会 一般質問

(要約)

平成20年第1回紀宝町議会定例会は3月6日に開会しました。
第1日目は、初めに、議長報告と各委員長報告を行い、次いで、町長から、新年度大綱説明及び各般についての行政報告がありました。その後、議案審議に入り、19年度補正予算案件の他、教育委員の人事選任案件、工事請負契約の締結案件、更に条例の制定や一部改正案件など合計14件の議案を原案通り可決しました。
第2日目の24日、第3日目の25日及び第4日目の26日は、一般質問が行われ、13人の議員が、町行政等について当局の考え方を質しました。議案の審議では、条例の制定や一部改正案件、契約の締結案件など6議案が提案され、それぞれ可決しました。
第5日目の27日には、条例の制定や一部改正案件、平成20年度予算案件8件など合わせて10件の議案を可決。また、人権擁護委員の推薦についての答申書を提出し、閉会しました。

議員
紀宝町でも宅地造成を進めて若者定住化につなげていけないか。

町長

宅地造成等につきましては、近隣の市町村等でも取り組みをされているということで、これから道路・交通状況、また住環境等を考慮して適正地の検討を進めていきたい。町有財産等の候補地についても把握をし、できるだけ早く実施できるように検討を進めていきます。

議員

参考までに紀宝町の中で町有地、山林を除く平地はどれくらいあるのか。

担当課長

町有地の宅地可能な地区の把握ですが、まず総務課関係で、合計2126・31㎡です。教育委員会関係で把握している空き地、教員住宅等で合計1352・12㎡あります。

議員

早期に宅地造成できるように進めていただきたい。それと、井田地区にある寄付地の小僧ノ上1万5千㎡の土地も若者定住化に向けて活用でき



榎本 健治 議員

- ・療育施設の整備について
- ・若者定住化対策について
- ・町のホームページについて
- ・小規模授産事業について

療育施設の整備

議員

12月の一般質問後、紀宝町として療育施設の整備について、どのように取り組んでいくのか、お伺いいたします。

担当課長

前回の12月議会におきまして、「広域的に検討してまいりたい」とお答えしましたが、しかしながら、現状は母親や家庭の努力で、紀宝町内からも数10名の児童が近隣の療育を行っている児童デイサービス施設まで通っており、経済的な問題や交通事情による時間的な問題等があります。子育て支援対策を進める本紀宝町といたしましては見過ぎすわけにいきません。三

重県紀南地域における障がい児の療育施策が不十分なか、障がい児とそのご家族に對しまして、療育の場を早急に紀宝町内に整備しなければならぬと判断いたし、児童

デイサービス事業を現在、新宮市内で実施しております社会福祉法人いなほ福祉会に、療育事業への協力を依頼しました。休所中の鮎田保育所を児童デイサービス事業の拠点としたいと考えており、現在、鮎田区へのご説明や保育所園庭を使用されているグラウンドゴルフの団体の方々にも療育事業へのご理解をいただけるよう、ご説明を現在させていただいております。新

年度予算におきまして、施設の光熱水費、療育備品費及び運営補助金を計上させていただいております。

議員

当初は広域で検討されていたということですが、4月から紀宝町で実施に向けて取り組まれたということで、当局のご努力に感謝を申し上げます。それと是非、二村先生に療育に関わっていただいて、福祉、医療、保健、早期発見・早期治療の相談体制を構築していただきたいと思ひます。

若者定住化対策

るよう御一考をお願いします。また、若者定住化に向けて子育て支援施策を一元化したガイドブックの作成はできないのか。

担当事務

新たな施策として子育て支援や、若者の定住化について取り組みを進めていくうえで、住民の方々のご理解とご協力が必要であるため、新たにガイドブックを作成し、配布していきたいと検討しているところでは。

――町のホームページ

議員

井内工業団地で進めている企業誘致について、町のホームページで企業誘致コーナーを作成して、誘致活動を展開できないのか。

担当課長

企業誘致につきましては、地元での定住を進展させるための施策の一環として、雇用問題解決の一番の特効薬として期待しており、町の重要課題として積極的に取り組みを進めております。開設以来、約15万件、月平均1万2千件、1日当たり約400件の

アクセスがあり、榎本議員にご提案いただきました、「町ホームページへの企業誘致コーナー」を早急にさらに充実した内容となるよう取り組んでまいりたいと思っております。

議員

誘致活動を進めていく上では、就業時間内で取り組んでいると思いますが、ホームページに企業誘致コーナーを作成すると夜間でも誘致活動が展開できます。パンフレットでは分譲価格が、2万円から2万5千円と書いていますが、思い切って無料にできないのか。これから高規格道路が、後5年で熊野市まで来ると言われていますが、この5年間が勝負の時だと思えます。価格を一つの売りにして、ホームページへ掲載できないか。

町長

高規格道路等の完成を控えて、高速道路等を活かした、町づくりを進めていくということが一番大きな課題でもあらうと思っています。そういった意味で、企業誘致等について、これからの積極的に進めてまいりたい。

議員

分譲価格もご一考いただきたい。更なる誘致活動をよろしく願います。

――小規模授産事業

議員

現在、紀宝町で行われている授産事業について障がい者自立支援法の関係で利用者負担が出てくるということ、今後の授産事業の展望をお伺いします。

担当課長

紀宝町では、小規模授産事業を社会福祉協議会に委託して、心身障がい者小規模授産所「アプローチ」を運営していたいております。すでに旧鵜殿村の頃から15年ほどが経っておりますが、平成18年4月に施行されました障がい者自立支援法の本格施行に伴い、この事業所におきましても平成21年度から、新体系のサービスマネジメントの移行を計画しております。この新体系サービスといえますのは、「就労継続支援」という新サービスでございまして、サービスマネジメントの1割を利用者にご負担いただ

くこととなります。働いた給料より施設利用に係る経費が高くなるという、逆転現象が生じないよう授産活動や創作活動をさらに展開して、社会の一員として就労できる喜びを持ってもらえるよう指導支援をしていきたいと考えております。

議員

これから利用料の方が高くなるという逆転現象が起こりうる状況です。紀宝町では、授産事業へ通われている方の報酬は1日100円です。先日、那智勝浦町でパンの製作販売をしている「いなほ作業所」を見学させていただきました。これからの授産事業を考えていく中では、ものづくりをすることによって、地域の方々との関わりを、深めていく必要があるのではないかと考えています。新宮の若葉園の方では、お墓に建てる塔婆を製作しているということ

です。紀宝町で療育施設ができましたが、療育と授産事業までこの紀宝町内で行える体制を構築していただきたいと思います。思います。

担当課長

議員おっしゃるように、こ

れから後1年で21年度への新体系の移行がスムーズにいくように指導し援助をしていきたいと思っております。先ほど議員おっしゃった新宮市の佐野の方では、いなほ作業所新宮分場がパンづくりとパンの販売をしているということもございまして、少しでも授産ができるような施設の視察とか、そういうところを見学させていただいて、なんとかこのアプローチもそれを参考にしながら、21年度の新体系サービスを迎えられるようにしていきたいと考えております。

議員

是非とも、アプローチの方でも、作る喜びを感じていただけよう、また利用料の逆転現象が起こらないように、福祉課の方でご一考をお願いします。

※この他に、次世代育成支援行動計画の件について質問がありました。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.annokenji.com/ipan.htm>)



矢熊 敏男 議員

- ・紀宝町営浄化槽整備推進事業について
- ・ゴミ問題について
- ・町施設の建設や事業計画について

他

紀宝町営浄化槽整備推進事業

議員

私は、紀宝町浄化槽整備推進事業、ゴミ問題とRDF問題、町施設の建設や事業計画、災害に強い町づくり、水道事業、地方自治体財政健全化法の6項目について質問をさせていただきます。まず、その前に「広報きほう」が平成19年度の県広報コンクールにおいて特選、また一枚写真、組写真も入選とのこと、町当局や担当者のご努力に敬意を表します。

では、町営浄化槽整備推進

事業ですが、本事業は町内の住宅、アパート、公共施設の浄化槽や汲み取り便所を高度処理型合併処理浄化槽への新築・切り替えの事業で、現行の個人設置型から町管理にし、その運営をPFI（民間活用方式）で10年間1500基推進し、生活排水を美しくする事業ですね。

担当課長

ご指摘の通りです。

議員

基本協定書や仮契約書が調印済みです。総事業費と起債と元利償還額等のご説明をお願いします。

担当課長

事業費は、30億8257万883円でございます。起債額が5億9075万円で、利子を含めて、起債の償還額は、8億7187万6795円です。

議員

民間事業者活用審査委員（大学教授・県職・収入役）がプロポーザル方式で審査・選定した、特別目的会社の代表企業、構成企業及び協力業者のご説明をお願いします。

担当課長

代表企業は、フランスのヴ

エオリア・ウォーター・ジャパン株式会社、構成企業は株式会社協和水道設備商会と有限会社熊野浄化槽保守管理です。

議員

PFI浄化槽事業は全国で8市町。全て地元企業中心で推進と聞いている。町は事業成功のため、地元企業を協力業者に、積極的に配慮すべきだと思う。

担当課長

地元協力業者には、門戸を開いてくれています。

議員

町の公共施設を、高度処理型合併処理浄化槽への切り替えは、大変な予算が必要だと思いますが。

町長

当然、取り組みを進めていかなければならないが、財政等を勘案する中で、検討しなければならぬと思っております。

議員

本事業は、必ず成功させなければならぬ事業であり、そのためには町民の理解と協力が不可欠だ。現在、町民への説明責任、情報公開、及び

議会での審議等で不十分な面

が多い。市町村設置型・PFI方式を、十分理解されていない町民も多い。そこで「広報きほう」等で、条例等を公開し周知徹底と、協力をお願いし、また地元協力業者も公募したらどうか。なお町内業者さんや町経済に与える影響が大変心配されるので、最終契約書等に、協力業者を希望する地元業者を明記できないか。成功を期すために、これらができるだけ解決してから、事業開始すべきではないか。

町長

議員ご指摘のように、町内に経済的影響を与えることは不徳のいたすところです。契約書には地元企業の参加をいただく中で、町全体の振興に向けて取り組みたい。

ゴミ問題

議員

3月17日に「リサイクルセンター」が完成し、ゴミの分別化やリサイクルが大きく前進した。敬意を表したいと思えます。現在のゴミ処理の現状と課題はなんでしょうか。

担当課長

平成19年6月に策定をした第一次紀宝町総合計画に、本町のゴミ処理対策の現状と課題を上げさせていただいております。

議員

ゴミ収集を旧鶴殿と旧紀宝を平等にしていたいたが、「回数が多くなればゴミが増える。旧紀宝はネットなので、景観も心配」という意見が多い。また昨年12月11日に、県から「RDF処理委託料及び今後のあり方について」の提案があり、処理料が約二倍になり、平成28年度で事業廃止とのことである。旧紀宝町では長年、町民部会で生ゴミの堆肥化に取り組み現在も継続中です。また1月に、伊勢市で「生ゴミ資源化PTを設置」の報道がありました。生ゴミの堆肥化推進については、三重大学環境学科波野豪準教授の詳細なレポートも出ている。そこで町当局に提案したい。ゴミ問題を広く抜本的に考えるために「ゴミ問題を考える会」「有機農業の町づくり研究会」「紀州製紙(株)燃焼炉での燃焼の研究会」（仮称）を立ち上げてい

ただきたい。

町施設の建設 や事業計画

議員

町施設や事業計画についてですが、かなり計画が進んだ後で議会に提示されることが多い。PFI方式、鶴殿駅前駐輪場、地域交流センター等です。初期の段階で、行政と議会が共により良い計画立案に、取り組むべきではないかと思います。

災害に強い町づくり

議員

12月21日の産業建設常任委員会での踏切の視察がありました。町内の踏切は大変不便な箇所が多い。JR等に改善を要望すべきだと思います。

町長

懸命に努力したい。

議員

井田海岸の平成20年度の国や県の予算は。また、紀宝トンネル破砕岩の養浜工事への活用については。

担当課長

事業公表が4月中旬で、詳細は報告を受けておりません。破砕岩は活用してくれることになっています。

地方自治体財政 健全化法問題

議員

今年4月より地方自治体財政健全化法が施行されます。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の平成18年度決算の数値は。

担当理事

実質赤字比率は0、連結実質赤字比率0、実質公債費比率は14・8%、将来負担比率は概算で170%程度になると見込まれます。

議員

これで質問を終わります。有難うございました。
※この他に、水道事業の件について質問がありました。



北山 千恵 議員
・地域交流センターについて
・町財政について
・PFIについて

地域交流センター

議員

1億400万円もかけて造る地域交流センターは何をするところですか。

担当課長

地区民の会議、サークル活動、葬祭、避難所等として活用していただければと思っています。

議員

財政がきびしい中、以前説明のあった鶴殿まつりの踊りの練習等は他にも施設が多くあるので、そこであればいいし、建設予定地での葬儀は駐車場の問題で難しい。避難所としては、すぐ隣が役場で避難所になるから場所も問題だと、それに地元負担金のことでは了解されているのですか。

担当課長

区において、どういう形で出すのか検討いただけるものと思います。

議員

上野地区では1軒3万円くらいの負担だったが、飯盛等は10万円くらい出した家も多かったと聞いている。2区で負担金を出すのか、鶴殿全体で出すのか、建設場所や維持経費等のことも含めて、鶴殿住民の声を聞く姿勢が必要と思うが。

町長

いろいろと状況的に判断する中で、地域の皆様と相談を

し、お互いに理解できるところに建設したいと思っています。

町 財 政

議員

20年度で本町の借金が100億円を突破しようという勢いの中、基金を取り崩しても自主財源は14億5千万円と大変きびしい状況にあります。ですが、きびしい中でも老朽化の激しい保育所や成川小の建て替え、今回1億7300万円をかけて耐震化する矢渕中も近い将来建て替えが必要です。必ず来ると言われている大地震に備え、紀宝町の将来を担ってくれる大切な子どもたちの命に関わることでからです。老朽化した水道のろ過装置にも1億円要ると聞いているし、水道すらない地域もあります。これらは命に関わることで早急に着手する必要がありますが概算でいくら必要ですか。

担当課長

保育所について、具体的な数字はないが5億1千万円の割り当てがあります。成川小は3億4、5千万円、矢渕

中、校舎のみで10億円前後。急速ろ過装置の改修に4200万円と1億円、未給水地区、北檜杖で8500万円、桐原1億5千万円、浅里1億3千万円、これらの事業を合わせると概算で23億6700万円になります。

議員

命に関わる事業に総額で24億円くらい必要で、他にも道路とか各課で必要となるものがあると思うが、起債総額は、これから先どうなっていくのか。

町長

一般会計では現在69億円の起債となるが、約22億円は交付税が支給されないための借金です。100%補助していただくものとして借金とはとらえていない。水道は企業会計になっており、借金は22億3千万円あるが、独立採算でやってもらいたい。一般会計で実質的には40億円くらいの借金と思っています。そんな中で保育所や避難所等、緊急性を要するものから取り組んでいきたいと思っています。

議員

22億円くらいは国が全部面倒みてくれるから借金ではな

いと言っていますが、国も800兆円もの借金を抱えているのですから、余り必要でない物を地方が造り続けるのなら、消費税アップという形で返ってくるのではないのでしょうか。人口規模がほぼ同じ御

浜町では、一般会計予算が39億8400万円、20年度の起債は1億9700万円と身の丈にあった予算編制とあります。本町の予算は51億3300万円、起債は8億5千万円と多額の借金をします。身の丈にあった予算編制なのですか。

担当理事

事業面では、合併に伴う庁舎増築や戸籍の電算化、防災対策などで、背伸びをした予算編制とは思っていません。

議員

町長は12月議会で、今後の財政運営は、経費の削減に努め、慎重かつ、十分な計画性のもとに進めたいと答弁しているが、今ある駐輪場を潰し、土地も買い足しての建て替えや週4回のゴミ収集、今回の集会所建設等は経費削減に努め、計画性のもとに行なった事業とは、とても思えません。20年度にやろうとして

いることは、命のことを最優先に考えたことですか。

町長

命のことを考えて19年度で特例債を使ってポンプ工事をしたし、診療所もやりました。全体的な取り組みを進めていく必要があるし、切り詰めるものは切り詰めて、借金と貯金の部分を割振りし、健全な町財政運営に取り組みしていくなくてはと思っています。

議員

これから、益々きびしい財政になってくるのは確かなことです。あれも、これもではなく、あれか、これかのきびしい取捨選択を命のことを最優先に考え行なっていたきたい。

P F I

議員

未来につなげる水処理を考える大会で、本町でまだ議決が済んでいない段階で、県職員が4月1日より紀宝町はPFIを導入して合併浄化槽設置事業を実施すると発表しました。このことにどんな感じを受けましたか。

町長

出席していなかったのですが、三重県における生活排水処理施設の整備推進の強化を図っていくという趣旨だったと聞いています。

議員

議決が終っていない段階で県の発表に、町長自身どう感じたか、とお聞きしたのですが。私はその発表のときムカッときました。後日、PFI参加代表のヴェオリアをネット上で調べていますと、こ

でも議決前の段階で紀宝町と契約という記事見出しがあり、何か目に見えない大きな力で突き動かされている事業だと感じました。この事業はまだ住民の皆さんに理解されていないし、町内の業者さん

も直接事業参入できない今、今一度水をきれいにするためのソフト面での啓発活動に取り組む、何がなんでも4月1日からと急ぐのではなく、住民の理解を得られるまで先延ばしできないのですか。

町長

今までだと、約60万円個人負担をお願いしていたのが15万円の負担で済むのです。1500基設置するのですから

9億円の負担から2億2500万円で済みます。私は町の発展や町民のために仕事をしなくてはいけない。個人の負担も減り、町の負担も今までと余り変わらない、後は県なり国なりの借金や補助金でまかない、運用する事業です。

議員

役場の施設で、浄化槽保守点検は予算化しているのに、清掃費や法定検査料を予算化していないのはなぜですか。

担当課長

各課で予算取りをするので私の方で把握していません。

議員

PFIを導入して水をきれいにする事業を担当する貴方が町のことを把握できていないのは問題です。清掃費用が約430万円必要なのに、汲み取り料は176万円しか予算化していない。いったい浄化槽の維持経費に年間いくらかかっているのですか。

担当課長

900万円少し必要です。

議員

決算では230万円ほど不足している。汲み取っていません。汲み取っていません。汲み取っていません。

担当課長

保守点検、法定検査、清掃の3点セットで、そのうちいずれかが漏れていた可能性があります。

議員

このPFI事業の目的を設置率の48%アップに置くなら、調査費に1200万円もかけなくても、職員の家や賛成する議員の持ち物を切り替えることで達成されたのでは。水をきれいにすることを目的とするなら、合併浄化槽をPFIで管理してもらうよりむしろ、単独槽の管理の方が問題です。10年経っても合併浄化槽は半数以下の設置数



ですので、ソフト事業で水をきれいにする啓発活動が是非とも必要と思います。



平野 美津子 議員

・紀宝バイパス工事について
・浄化槽整備事業、PFI手法について

—— 紀宝バイパス工事

議員

昭和50年に提訴され、生活されている地域を守るため頑張つてこられたある女性からお手紙をいただきましたので、読ませていただきます。

「紀宝バイパストンネル工事は、3月4日の説明会を聞き、不安が倍増してまいりました。紀宝マップを見てのとおりに急傾斜地域であり、発破

で地盤沈下や亀裂が生じ、集中豪雨や東南海、南海地震、が同時に、いつ発生してもおかしくないと学者が発表しております。この工事の影響が大災害を起こす引き金となり、人命にも係わる可能性が大と思うと、夜も寝ることができず、昭和40年安住の地と大枚を払って手にしたこの居場所、余生わずかとなった今、心配を抱えての暮らしに暗転しそうです。上地地区の坑口周辺での排気ガスや騒音などで正常な生活ができなくなるなど、町長、町議員、バイパス対策特別委員の皆様からの一日も早い安心、安全なる工事対策についての説明会を開催していただきたく、女性議員のあなたならば理解をいただけると信じ、小心者の老婆ですが、何卒よろしくおねがいします」

国土問題研究所が出しています報告書の最後を読ませていただきますと、議員や行政の果たさなければならぬ役割をきちんとまとめたいいただいております。

「道路建設それは産業優先を基軸とした高度経済成長の時期には、車の多くなるの

に従って、必要の論理で建設が促進され、都市内及び都市間の連絡をより早くすることによって、その経済効果が追求されてきた。しかし、今や低成長のもとで生活と福祉優先や充実が求められ、必要の論理だけでなく、十分の論理が論証として位置づけられるに至った、この十分な論理による論証があつてはじめて、公共的な構築物の成立条件が、個々の生活と私生活と両立しうる方途が開けるといつても過言ではない。この十分な論理とは、あくまで住民の生活を侵害せず、住民の不安と疑問に対して十分、住民が納得でき、全員の合意の得られる条件であり、この報告書はこの十分な論証、起業者が提示する義務のあることを提起しているものである。……」

元紀宝町長の岩本町長は「一人でも反対者が居れば、このバイパスは反対する」とおっしゃった。言葉の重みを今、噛みしめているところでございます。三月四日の説明会では、判決は、発破の振動が、0・1カイン以下で工事をせよとでているのに、説明

会では、住宅地域は0・1カイン以下、空き家とか住民の住んでいないところは1カイン以下という説明がありました。工事を施工する側が、きちんと判決を受け止めていないのではないかと思います。

担当理事

住民の安全安心の確保は、区長さんをはじめ区の方、代表者の方をお願いして、意見や不都合が生じる場合は、すぐに職員を派遣して、その旨を国交省に話をさせていたかどうかということで進めさせていただいております。今後においても、その形で進めさせていただきたいと考えております。

—— 浄化槽整備事業

PFI手法

議員

PFI手法はちょっと待てということですと発言してきましたが、蓋を開けたら、ヴェオリア・グループというフランスの多国籍企業が中心とするグループが第一優先交渉権者に選ばれました。こういうことは予測されていまし

たよね。ヴェオリアは家庭排水処理では、実績がないといわれていますが。提案書の積算基礎はどのようになっていきますか。

担当課長

各提案をいただいたそれぞれの会社集合体におきまして、自分の会社の財務能力、経営能力それを総合的に積算して提出されたものでございます。

議員

施工費用がまともな積算されているのなら地元の業者さんたちも受けることができるでしょう。設置費用が削減されている場合、赤字を出した事業を運営できなくなるでしょう。業者を選考するときの点数の設定はどのように。

担当課長

この事業において恩恵を受けるのは住民の皆様です。それを先ず念頭におきまして、価格のみならず技術提案やその他、民間さんの独自の発想による事業展開、これらを総合的に審査して決定をしたということです。

議員

この計画で、役所としての研究期間をどれくらいとられ

たのですか。

担当課長

合併後すぐに、循環型社会の計画を議員さんにもお示しをし、県から講師を招き、議会で特別委員会と全協の場で学習会を2回行い、7月に先進地の視察も行っておりまして。年末には本格的な調査を日本上下水道に委託して行いました。事前検討として約1年弱かけております。

議員

報告書を見せていただいても使用料金の徴収は、PFIで事業をやっている自治体は、全国で8自治体で6自治体は、水道に委託しています。水道に委託すれば、委託料は水道に入ります。行政はいいことを並べていただいているんですが、事業するときには、反対のことも考えて、それを確実にしていかなないと安心できないと思います。同じお金を出して地元が直接かわるのと、フランスの会社にかかわってもらうのと、どちらが仕事しやすいですか。今までだったら地元の業者さんたちの努力で仕事できたわけですから。それが独占企業になって、そこから依頼されないと

仕事ができないでしょう。



地案 光徳 議員

・紀宝町浄化槽整備事業について
・新制度における特定健診と今まであった健康診断はどうなるのか。

他

紀宝町浄化槽整備事業

議員

本町では町民の生活環境の向上と、公共用水域の更なる水質保全を図るため、平成20年度から浄化槽市町村整備推進事業を実施することとし、この市町村設置型事業には民間資金等の活用による公施設等の設備の推進の促進に関する法律（PFI法）で事業をするということです。平成19年12月20日事業者募集要項を公表し、本事業を実施する民

間事業者が事業者募集要項に基づいて、平成20年1月22日に提案書が提出され、これを紀宝町浄化槽整備促進事業民間業者活用審査委員会において提案書の審査を行い、優先交渉権者を選定し、審査の結果を決定し公表した。優先交渉権者はヴェオリア・グループ次点は藤吉工業株式会社と公表された。そして紀宝町浄化槽整備推進事業に関する条例案も提出され、ヴェオリア・グループと20年3月17日に仮契約をされて、当町に紀宝町下水道サービス株式会社が設立されることとなる。

それで事業分担金、使用料等が設定され、浄化槽本体設置費は導入可能性調査時の5人槽で91万9000円に対し、13万2500円安の78万7500円で合意したため、その結果、住民負担は3割負担から2割負担となり、5人槽だと16万5500円となるということです。でもこの価格は工事実施の条件が異なってもこれでよいのか。

担当課長

これまでも地区説明会や広報などでお示しをしておりますように、標準的な単価であ

って、地形的なことや重機などが入らないときには、その増高経費は住民負担となります。

議員

次にこの事業に地元業者も参加できるのか。地元業者さんはこれまで地域住民のために奉仕をされてきました。参入ができなくなれば大変な事態になると思います。当局も責任をもって対応していただけますか。

担当課長

事業提案にかかる募集要項の段階にもこれらに十分配慮するように求めています。本事業への参入を希望される地元業者は、特別目的会社の協力企業などに加入いただき、本事業への参入をいただけると思っています。

議員

町長も地元業者が参入できるでよいですか。

町長

地元の業者に設置していただくのが基本で、これを必ず守っていただけるものと考えています。

議員

浄化槽設置工事以外の家屋側の自己負担分の工事は、施

主の都合のよい方に頼んでもよいのか。

担当課長

個人の希望があれば、その方にやっていただくものと考えています。

議員

紀宝町下水道サービス株式会社が発立されるが、事業税などは当町に入るのか。

担当課長

固定資産税、法人住民税等の税収が見込まれます。

議員

10年間で1500基の目標にしているが、目標達成に至らない場合に残りの分の本町負担ということはないのか。

担当課長

目標数値に届かなくても町が金銭的な被害を被るものではありません。

新制度特定健診 今までの健康診断

議員

この制度は40代から74歳までの方が対象者で、主にメタボリックシンドロームの予防解消を重点に置いた制度であり、特定健康指導の実施と健診データの管理が義務付けら

れ、これにより健診データは

健診後に行われる保健指導に活用され、健診結果は数年間分記載され、自分の検査数値の変化も分かり健康管理がしやすいくなる。これは良いが、ではこの対象者全員に受診させようとしたら、よほど力を入れてPRをして周知しないといけないと思います。

担当理事

特に国保の皆様方に受診していただくのが大変だと思えます。他の保険等の方もまだ具体化されていません。決まり次第広報させていただきます。集団健診もどうするか、町としてはきちんと決まっております。国・県の制度、動向を見定めながらやっていきたいと思っています。皆さんに受診していただくには広報が大事だと思っております。

議員

この制度もやはり皆保険を継続可能にするためでもあると思いますが、5年間で内臓脂肪症候群を10%削減という達成目標がありますので、1回受診してよいのではなく、5年間データと共に健診と指導を受けながらのことですから、受診者も指導する医師の

方も大変な仕事だと思う。

担当理事

自分の健康は自分で守るという意識をどうやって作っていくのか、健診を受けるその意識を高めていきたい。

紀宝川瀬線 県道拡幅工事

議員

昨年の暮れ、平尾井地区で立派な道路となりましたが、残り平尾井より井内間の区間は非常に狭くカーブが多い危険箇所であります。一日も早く拡幅をお願いいたします。

担当課長

紀宝町交通安全協定会相野谷支部長、相野谷小中学校長、PTA会長の県への要望もあり、2000坪はできたが、残りは県の財政状況等を勘案すると、依然厳しいところです。引き続き道路整備の要望は行っていくきます。

議員

桐原阪松原間のトンネル工事も当初の県の地元説明よりも大幅に遅れているが工事着工は大丈夫なのか。

担当課長

桐原側トンネル坑口までの

道路改良工事を実施しています。20年度以降については4月中旬頃県の事業公表があるとのこと。分かり次第報告します。

まちづくり 交付金事業

議員

国・県・町の分担金はどうなのか。

担当課長

分担金の配分という形で、18年から20年度の3年間で総事業費は2億5000万円で、国費は4割8200万円、合併特例債は6割の内95%を充当して1億1685万円、以上が特定財源で、残る615万円が一般財源です。

議員

この施設を造るに当たっては地元住民が理解しているのか。

担当課長

建物配置図は提出したが、今後、地元自治会と協議して使い勝手の良い施設にしていきます。

議員

地元住民が歓喜する施設にしていたきたい。



西村 喜久男 議員

- ・紀宝町水道事業について
- ・環境保全対策について
- ・給食センターの食材について
- ・学校の安全について
- ・浄化槽事業について

紀宝町水道事業

議員

水道事業の収支決算は厳しい状態と思われます。どのような状況ですか。

担当課長

給水収益では調定額が月平均1930万円あり、収納額が約1900万円となっております。水道会計の決算状況では、平成18年度の収益的収支では、水道事業収益2億5315万円に対し、水道事業費2億7310万円となり、経常損失が1995万円です。特別利益・特別損失を含めた

純損失は2009万円となっています。19年度の予定損益計算書によりますと、経常損失が1748万円であり、純損失では1778万円となっており、未処理欠損金が1億8147万円となっております。現状では更なる事業を行うに当たり、財政的に非常に厳しい状況となっております。

議員

平尾井地区で水道の水の出が悪く、日によって、時間帯によって、全然出ないお宅も数軒あります。また、その近くの消火栓では水の出ない箇所もありました。先日、近隣の御浜町で山火事が発生しています。平尾井のその近くには薬師の文化財もあり、緊急を要することだと思いが、どのようなお考えですか。

担当課長

平尾井東地区の一部の地域につきまして、朝夕の水道使用量の多い時間帯には水圧低下による影響がみられ、応急的な対応ではなく、恒久的な対応の必要性は十分認識しており対策を検討しているところですが、水道事業財政状況から早急な施設の整備は難

しく、ホームポンプ3台を水圧低下が見られる家庭に設置を予定しています。消火栓につきましては、防災対策室と現地協議をし、水圧の低いところの火災の対応について検討しており、第3分団の分団長、副分団長に理解をしてもらっております。

議員

大変財政が厳しいと思いますが、恒久的な対策について、どのような予定で、いつ頃までに実施していただけますか。

担当課長

水圧の改修方法については、阪松原からの給水方法を考えております。時期につきましては、資金財政計画を踏まえて検討をしたいと思っております。

議員

平等性の問題から、早急に対策をお願いします。恒久的対策については、他にもあるかも分かりませんが、一番いい方法でよろしく願います。続きまして、未給水地区への取り組みと今後の見通しについてどのようにいたしますか。

担当課長

北松杖地区については、現地調査を区長、コンサルと共に実施をし、事業費約8500万円を算出しております。浅里地区は、浄水場からの給水が困難なため簡易水道での対応を検討し、事業費約1億3000万円が必要となります。桐原地区は阪松原の配水池からの配管約5kmの概算で約1億5000万円の費用が必要となります。小畑地区については、概算で6000万円の事業費が必要となります。議会の皆様の意見を拝聴するなかで、給水料金の値上げを視野に入れ、未給水地区の整備を図りたいと考えています。

— 環境保全対策 —

議員

井内地区で建設業者の資材置き場で敷地内からはみ出して資材が置かれており、住民の方が神社へ行く道が通行でさないと言っています。また、水路も崩れ落ち詰まりかけています。大きな災害になりかねないと思いますが、どのようなお考えですか。

担当課長

昨年7月上旬に住民さんからの通報を受け現地確認し、水路上に置かれている資材の撤去の指導を行いました。改善されていないので、11月下旬に再度指導しております。境界の確認作業を行い、撤去等を含め水路等の補修等の諸問題について、できるだけ早く解決していきたいと思っております。

— 給食センターの食材 —

議員

中国製の冷凍ヨーザに有機リン系の殺虫剤が混入した中毒事件や食品偽装事件が発生しました。給食センターの食材チェック体制はどうなっていますか。

担当課長

生鮮食品・缶詰等の乾物は原則、国内産を使用し、食品ごとに産地の確認、記入をしております。国産でない食材は原料産地が中国産の材料が含まれないものに変更して、やむを得ず中国産が含まれるものは、残留農薬などの安全性の確認をメーカーに行っております。

議員

食の安全のためにも、値段が高くなっても極力、安全な生産者の顔が見える地元の食材を使っていたきたいと思っています。

— 学校の安全 —

議員

学校や保育所で、侵入してきた不審者の対処方法について、警察と連携しての訓練も必要かと思いますがいかがですか。

教育長

町内の小中学校のすべてで危機管理マニュアルを作成しており、訓練を実施しています。また、県教委から、児童生徒の登下校も考えながら、どこが危険なのかを学校に通知していただくスクールガードリーダーを紀宝町で一人配置していただいております。教職員に対する訓練では、警察署から来ていただいて訓練を受けております。

— 浄化槽事業 —

議員

この浄化槽事業で、地元業者の活性化につながるか心配

しています。現在の協力会社に加入予定の状況はどうなっていますか。

担当課長

17業者の方が参加を申し込んでいられるとお聞きしております。

議員

これから厳しくなると思われる地元業者への相談窓口や支援等も考えておく必要があると思いますがいかがですか。

町長

地元企業の多くの方にご参加いただける体制づくりが大事ではないかと基本的にそう思っております。幅広く参加をいただく中で皆さんのお知恵をお借りして浄化槽整備に取り組んでまいりたいと思っています。

議員

住民の方の意見を聞くとまだまだ合併槽に切り替えの意識は低く、この問題を解決しないとこのPFI方式による浄化槽事業についても成功しないと思います。住民の意識を盛り上げてからでも遅くないです。必ず成功するように、最善の努力をしていただきたいと思っています。



市川 潔 議員

・ごみの減量化について
・食の安全と食生活について

—ごみの減量化—

議員

CO₂の地球環境問題の一つとして、住民と行政が一体となって、ごみ問題に取り組みが必要があると考え、次の質問をさせていただきます。町長の大綱説明の中に、リサイクルセンターの完成と収集体制の充実により、さらなるごみの減量化・資源化に取り組んでまいりたいとありますが、具体的な考えをお訊ねします。

担当課長

合併後、リサイクルセンタ

ーを新たに造り、ごみ収集の一元化体制が整う中で、この次のステップへの体制固めの準備を進めております。今後は全町におけるごみの減量化、分別による資源化の取り組みをさらに強化したいと考えております。

議員

収集の一元化も、逆に数が多くなったために、ごみの分量が増えるのでは大変なことになりますので、ごみの減量目的を達成されるように、ごみの排出量、処理経費の実績、一人当たりのごみ処理にかかる費用等教えてくださ

担当課長

平成18年度における町全体のごみ排出量は、4108ト、ごみ処理にかかる経費の実績は、南牟婁清掃施設組合等に支払う分担金を含めて全体で約2億6100万円支出しております。住民の皆様のご協力により分別収集させていただいた資源ごみ売却金

後も住民の皆様のご協力をお願いするところであります。

議員

一人当たりのごみ消費量はどのくらいですか。

担当課長

平成18年度で一人当たりのごみ処理経費は約2万500円となりますが、昨年はリサイクルセンターの建設費用が含まれており、これを除きますと約1万8120円ほどになっています。

議員

今、2億6千万円の費用がかかっている。これを多くするも少なくするも、行政と住民の皆さんによって変わってくると思うんです。数値的にも10%ぐらい減少するんだという目標を持って、いろんな団体の方や住民の方と相談しながら、ごみを減少する推進会議等を作って、実践していただくような仕組みが必要であり、ごみ減少の数値目標が必要ではないのですか。

担当課長

やはり一定の努力目標、数値目標を掲げて、行政の事業の推進にあたるというのが、重要になってくると考えております。

議員

町民一体とするときには、トップの方のリーダーシップによって随分変わってくる面がありますので、町長さんその面からお聞きします。

町長

循環型社会を構築していくんだということで、水環境の問題、ごみの問題、収集体系の問題等をセットしながら、これからの環境、地球環境整備を構築していく必要があると思いますし、リサイクルすることによってCO₂の削減等々にも、その効果が発揮されるということですので、そういった部分については、しっかりと受け止めて、取り組みを進めたいと思っています。

—食の安全と食生活—

議員

輸入食品やインスタント食品、レトルト食品など便利な食品等が多く出回っている中、学校関係の食材供給については、どのような考えでなされているのかお訊ねします。

担当課長



議会運営委員会

給食センターにつきましては、食の安全と食生活ということで、紀宝町産の米、ミカン、豆腐、酢、なめこ、キウイなどの食品を使用させていただき、米につきましては、JAを通じ、地元紀宝町産のレンゲ米を給食に出しており、他の食品につきましては、供給の数量等が多いた

め、紀宝町産では数量が調達できなく、国内産を原則に使用させていただいております。

議員

人と自然にやさしいみえの安心食材制度の現状はどのようになっていますか。

担当課長

参加している農家は現在2名いますが、今後、紀州地域農業改良普及センター等の各機関と協力して、生産者への制度の周知を図るとともに、制度参加者が増加できるように推進してまいりたい。

議員

地産地消の推進ということ、今の現状についてお訊ねします。

担当課長

現状は、地域の活性化を促進する地産地消につきまして、消費者の食に対する安全・安心志向が高まっています。平成17年4月にオープンした道の駅「紀宝町ウミガメ公園」物産館には、現在、賛助会員が工夫して、多品種の農産物が販売され、今後は紀州地域農業改良普及センターやJA等の各関係機関協力のもと、野菜づくり講習会等を

定期的に開催し、地元の直売所により多くの方が出品できるように進めてまいります。

議員

児童の欠食防止指導について、教育長さんお願いいたします。

教育長

国の方も、早寝、早起き、朝ごはんというのをうたっております。朝ごはんの大事さを私も学校関係者も認識しており、子どもに朝ごはんを食べるよう各学校で指導しております。

議員

二村先生の方から、医学的にも教えていただきたい。

担当理事

医学で申し上げますと、体を育てる基礎は食事にあります。欠食の問題は生活習慣の多様化に伴って起こってくると思います。早寝、早起きの生活習慣を確立すると共に、三食きちんと食べる生活習慣を確立する。そういうことが子どもの健康づくりの基本だろうと思っております。

議員

二村先生の専門の立場から、早寝、早起き、三食規則正しい食事をするることによつ

て健康になると言っていたいただき、紀宝町の皆さんが健康な人たちになることを願います。



尾畑 啓嗣 議員

- ・工場誘致について
- ・紀宝バイパス工事について
- ・町長所信表明について
- ・合併浄化槽について

工場誘致

議員

売れ残っている土地が2筆あります。セールの状況と見通しは。

担当課長

2社問い合わせがあったが、本交渉に至りません。

議員

紀宝町に下水道サービス会社が企業進出してくるとお聞きしました。この会社と工業

団地に入っていたきたいと話しましたか、していない。本気で工業誘致やろうとするなら、当局は頭が回らないのか、町長。

町長

議員ご指摘の部分についても取り組みをお話し合いをさせていただきたい。

議員

工業団地の中にレモン農場があり、食品加工会社の隣で農薬が散布される。天日干しはしないから、JAの指導で安全だというが、中国のギョーザが問題になっているときに、あまりにも無責任すぎる。農地がないのならいざ知らず、目配りが足りない。問題が起きないようにご指導をお願いします。

紀宝バイパス工事

議員

3月4日、国土交通省より工事説明会が行われました。このバイパス工事は昭和55年から始まり、総延長3・8キロのうち、残すところトンネル部分683メートル、その内本年度事業524メートルから掘削が行われます。総工事費はいくら

か。費用対効果は。3・8^{キロ}で何分の短縮がされるのか。残りなぜ予算化されていないのか。

担当理事

総事業費285億円。費用対効果1・2。時間短縮は朝夕のピーク時に11分の短縮が可能となると聞いております。土地坑口から123^{メートル}地点で紀州製紙の導水管と交差します。この部分の工事は慎重に進めなければならぬ。坑口から159^{メートル}間は未発注です。

議員

3月14日の講談社のフライデーの記事と違っているのは、時間短縮です。週刊誌は54秒です。次に平成7年6月26日名古屋高裁判決が出ました。この裁判の争点と判決の内容を説明していただきました。この点が今後工事をやっていく上で、一番大きな問題になる。町も国も、住民も、同じ認識に立たないと、トラブルが生じると私は思うからです、お伺いします。

担当理事

ご説明申し上げます。道路建設工事差止訴訟の第1点、トンネル工事、掘削工事にお

ける被害。井戸水の枯渇、地すべり、地崩れ、落石、石垣擁壁等の歪み、地盤沈下等の発生。2点目、騒音被害は環境基準を超える被害。3点目、大気汚染被害、通行車両の排気ガスによる健康被害。4点目、水害の激化。5点目、生活環境の分断等の被害。第1点目については、本件掘削工事では、最近の新技术、新工法による発破振動の軽減工法を選定し、発破振動の管理基準を0・1カインとし、これを下回るよう施工することを予定している。騒音被害については、受忍限度を超える騒音は認められない。大気汚染については、環境基準を大幅に下回る。飯盛地区の洪水被害を激化させるとは認められない。5点目は、横断交差道路の検討など採用されています。

議員

トンネル工事の関係住民百数名の方から0・1カイン以下で発破してくれ、午後4時以降の工事はしないで欲しいとの要望が出されております。いまだに回答がありません。役場としては、回答がなければ、工事は進めないとい

う立場をとりますか。

担当理事

当然ですね、工事を進めていく中では肝心なことだと十分認識しているつもりでございます。

議員

家屋調査の保管。中央側溝と導水管との3^{メートル}の差で導水管は大丈夫か。岩砕6万^{平方メートル}は井田海岸へ、ダンプカーは1日80台から90台走る。地すべり器や、振動計の設置等を要請します。

――町長所信表明

議員

住民の合意形成のないまま、産業会館を造ると言ったり、運営母体も確立されていない、地元負担も具体的になっていない、交流センター。国の方針に無批判に従う後期高齢者医療費制度、高齢者にとつて負担増と医者に掛かり難くなる不安がある。こんなことで安全・安心して、暮らせるのか。所信表明の中に出てくる、言葉とやっていることについて、私はすごく疑問を持ちます。ありき論が進み、町長の独善専行運営に、

町民からの批判が出ているように思います。町長この批判に對して、どう答えますか。

町長

ご指摘いただきました部分についても、真摯に受け止めてまいりたいと思っておりますけれども、私は地域の皆様方との協働しながら、これからの町づくりをしていくということは基本であると思っております。安全・安心対策については、輪中堤の問題、井田海岸、地震対策等々踏まえ、鋭意努力し、情報を共有できる体制づくりをして、町づくりを進めたい。

――合併浄化槽

議員

同僚議員の論議を整理しますと、従来の個人設置型で年間新築の住宅が64件、単独浄化槽から合併への切り替えが26基であったが、今回、市町村設置型でPFIを導入して、年間150基、10年間で1500基の合併浄化槽を作り、水をきれいにしたい。個人負担も本体設置費用は60万円から15万7千円程度安くなる。法定検査、保守点検も64

%から100%となる。提案方式（プロポーザル方式）で公募したら3社があり、5人の学識経験者により、選定してもらったらヴェオリア・ウォーター・ジャパン（株）という、フランスの会社が優先交渉権者となり、子会社（SPC）に紀宝町浄化槽サービス会社が設立され、設置工事はその下に協力企業を募り事業をする。現在、町内に1060基設置されていますが、町内業者の設置割合はどれだけか。

担当課長

只今、具体的な数字を持っていません。

議員

公共施設が93カ所、その内、合併浄化槽が34基、残りの合併浄化槽への転換の年次計画はあるのか。

担当課長

町も襟を正して、今後、適正な整備について、年次的に整備をしていくということ、で、よろしく願います。

議員

公共施設の34カ所をPFIの業者に保守点検、法定検査を渡したら、いくら安くなるのか。

担当課長

個々の具体的な見積もりは、現在のところ取っておりません。これから取りたいと思います。

議員

合併浄化槽ありきで、現状分析もせず、町の公共設備の建設計画も方針を出さず、それだけが走っていると私の感じなんです。今回の合併浄化槽事業の最大の問題点は、町長の政治姿勢にあると思っています。小泉、安倍内閣が進めてきた規制緩和と、構造改革路線の紀宝町版であります。町長はある議員に市場原理を取り入れると答えました。安ければいいというものではないと思います。この事業は、業者の意見や、町民の要求に応えるところから出発したものではなく、国や県の考え方を、そのまま、住民や業者に説明をやってきたにすぎません。町長の言う、共に考えて、共に栄える紀宝町、明るい紀宝町をつくるという発想から、出たものじゃない。県の職員が紀宝町は4月1日から始めますと発言しました。

町長

紀宝町の循環型社会を構築していくんだということが基本でございます。私は独断で取り組んだとは思っておりません。業者への説明会、地区別の住民懇談会等を通じてご理解していただいたと思っています。

※この他に、健康づくりの件について質問がありました。



阪本 守 衆議員

- ・井田川護岸改修について
- ・JRの踏切及び橋梁の拡幅について
- ・井田海岸への破碎岩投入について

井田川護岸改修

議員

まず井田川護岸改修についてお伺いします。19年度の工事費はどれくらいですか。

担当課長

県の報告では、18、19年度の合計で3300万円、19年度については約2000万円です。JR橋上流110㍎の内75㍎の工事を行い、残り35㍎も20年度に整備とのことです。

議員

予定している井田川の護岸改修工事を全部するには、いくらぐらいかかりますか。

担当課長

町の概算ですが、井田舞子橋から上流1・3kmの両護岸を高さ3㍎のブロック積で整備すると仮定して、少なくとも3億5千万円は必要と思われます。

議員

県の公共工事予算も大変なときとは思いますが、鉄道下流の護岸の整備を早急にお願いしてください。大地震が起これば、井田川を逆流してくる津波が、あの個所につつかれば、鉄道の基礎部分に大被害が出る予想されます。これについて町長のご意見や如何に。

町長

JR下流域についても、県に早期工事着手の要望を行っていきたいと思っています。

JRの踏切及び橋梁の拡幅

議員

産業建設常任委員会の登立委員長が、町内のJRの踏切と橋梁の拡幅について、町全体の運動として取り上げようと提案してくれ、去年の12月21日に委員会の現地視察となりました。正式名は井田小学校前踏切という、駅の南側踏切については、井田の先輩諸氏が、何十年前前から国会議員や県会議員は言うに及ばず、あの手この手の手段を使って努力されてきましたが、昔の状態のままです。下り場の橋梁は2・8㍎となっています。先日、阿田和の旧国道のところのJAの横から中学校へ行く道を通りましたら、高さ制限はあるものの、幅は国道並にあるJRの橋梁がありました。産業建設課に、この橋梁ができた経緯を調べてほしいとお願いしましたが、どうでしたか。

担当課長

正式名は阿田和陸橋とい

い、幅員は約4・5㍎ですが、高架部分は幅員8・5㍎、高さ2・3㍎となっています。御浜町とJRに竣工時期及び経緯等を確認したところ、鉄道が開通した昭和15年8月に竣工しており、陸橋の形状は当時のままのことです。経緯については、古いため不明ですが、推測では、当時、尾呂志川が整備されていなかったため、たびたび河川の氾濫等により、冠水が発生していたことから、鉄道の施工による山側の氾濫した水を引かすのに河口的な要素で広くしたのではないか、ということとです。

議員

鉄道の線路が堤防になってしまいうので、その水を逃がすためにあれだけ広がったということですか。政治的圧力で広がったというのであれば、下り場の橋梁や井田小学校前踏切等の拡幅も夢ではないと思っていますのですけど。町長にお願いしますが、災害時、少なくとも救急車両が通れるようにという運動を起こしてもらいたいのですが。

町長

町内の踏切や橋梁の拡幅に

については大変厳しいのが実情ですが、安心で災害に強いまちづくりに向け、優先順位を付けるなどして、一つでも多くの踏切や橋梁の拡幅の実現に向けて、より一層、J R に対し強く要望していきます。

井田海岸への 破碎岩投入

議員

井田海岸への破碎岩の投入予定について伺います。

担当理事

井田海岸への破碎岩投入



総務財政常任委員会

については事業の実施に向け、国・県及び町が一体となり、関係各所のご理解を得られるよう、現在、調整を行っているところです。工事内容としては、紀宝バイパスの破碎岩を白島前付近へ運び、そこで小割りし、井田側については、井田公民館前から、鶴殿側については、ふれあい会館横を通るルートで海岸へ搬出する予定です。投入場所及び投入量については、浸食の著しい井田馬場地から梶鼻間の約1700㎡の区間に対し、岩砕6万㎡の投入を予定しています。投入断面として、現堤防前面に天端高さTP+4.50、天端幅9、前面の勾配1対3という計画です。事業の推進につきましては、地元等関係各所のご理解が必要ですので、よろしくご協力をお願いします。

議員

地元の関係者の一人として、6万㎡の破碎岩を全部井田海岸へ投入してもらえるところを大変嬉しく思います。井田の住民の皆さんも、少しでも昔の井田海岸に近づくならと、協力してくれることを、

私は確信しております。県当局も井田海岸の復旧に一生懸命取り組んでくださっていますが、紀宝町、御浜町、熊野市、新宮市が一丸となり、国直轄の事業として七里御浜の復旧に取り組んでもらえるよう、町長のご意見をお伺いします。

町長

バイパス工事の破碎岩を井田海岸へ投入する予定となりました。まだ地元の皆さんや漁業関係者との調整は残っていますが、井田海岸の復元に少しでも取り組みができます。今後の予定として、残り4基の人工リーフの設置があり、非常に大きな金額になるので、県も管理者として財政的に大変厳しいと思います。渚100選に選ばれており、また、熊野古道の浜街道にもなっている七里御浜の復元、あるいは保全に向け、直轄による施工の要望に取り組んでいきたいと思っています。

議員

地元の人が安心して暮らせる。また、昔の海岸に近い状態になるよう、皆様方のお骨折りをお願いしまして、一般質問を終わります。

石垣 憲一 議員
・支所、分庁舎の廃止について



支所、分庁舎廃止

議員

支所、分庁舎の廃止目的は。

担当理事

支所については、旧紀宝町の第4次長期総合計画の中で計画されており、合併協議会で審議の結果、平成20年度をもって廃止することとなっています。分庁舎については21年度となっています。財政が逼迫する中で今後の行政運営につきましては、最少の費用で最大の住民満足が得られる各種サービスのあり方を検討

しなければなりません。

議員

総合計画、合併協議会の件、今現在、果たして現状にあっているのか、また、民意に沿っているのか疑問に思っています。財政の件でも同僚議員に対しての町長答弁では財政が逼迫しているようには思えなかった。この住民サービスのどこが費用対効果がな

担当理事

住民懇談会の席で郵便局へ委託してはどうかと、住民の方から提案がありました。郵便局を利用した場合の費用について比較、検討した結果について費用対効果というようなことを考えますと、郵便局へ委託した方がより効果的な経費の使用ができると判断しました。

議員

町長諸報告にも住民が主役と書いていますが、それを費用対効果というような言葉の表現はいかがなものかと思えます。支所、分庁舎の必要経費はどのくらいになっていますか。

担当理事

支所について平成19年度べ



総務財政常任委員会 現地視察

1スでは、人件費84万1千円、維持管理費が10万4千円、計9万4千5百40円。分庁舎では、人件費2万5千400円、維持管理費7万5千100円、計32万9千100円。

千円、計32万9千100円。支所、分庁舎合わせて42万3千7百30円となっております。平成20年度ベースで支所では、人件費6万4千8百60円、賃金1万9千7百円、維持管理費1万1千1百円の計9万5千6百60円。分庁舎は、人件費1万5千2百25千円、維持管理費5万7千7百10円、計20万9千9百60円で、支所、分庁舎合計30万5千6百20円となっております。それに対して郵便局への委託に伴う経費は、当初経費としてFAX機能の付いたプリンタ等の設置費用3万4千8百30円、1年間のランニングコストとしまして、手数料、電気料、電話等の経費が10万8千500円となっております。

議員

対応策として一番先に郵便局が考えられます。三重県下でも何箇所かあると聞いています。その前に支所、分庁舎を臨時職員で対応する考えはなかったのですか。

担当理事

いろいろな方面で検討させていただきましたが、支所のあるところに郵便局があるということと、昨年の10月に郵

政の民営化が行われ、郵便局も非常に危機感を持っています。民営化ということで非常に厳しい状況にあるということです。これまで度々郵便局の方にも伺っている中で、諸手を挙げて賛成してくれた郵便局もありました。郵政は総務省の管轄であるということ、証明事務等手馴れているようなことから郵便局への委託がベターだと考えました。

議員

郵政民営化の郵便局を守るのと、住民サービスの住民を守るのと、どちらが大事なんですか。臨時職員を配置するということの試算はやったことがありますか。

担当理事

井田支所が臨時職員で対応していますので、井田支所の例にならって試算したことがあります。20年度ベースで1人置くと1万9千7百円というような金額が出てよかったと思います。

議員

郵便局へ委託する業務はどのようなものか。税務関係、各税の各種証明、所得納税、課税、評価、試算、確定申告及び町県民税申告受付。収納

関係、税金、保育料、水道関係、災害、交通災害、介護保険、雑入関係、住民会計。福祉関係、多いのは国民健康保険、国民保険届出、保険証、高齢者受給交付。これをどうカバーしていくのか。臨時職員4人で対応して7万8千800円、維持管理費をみても1万5千000円以下でできる、費用対効果という冷たい言い方、ものの考え方ではなく、人間対人間ということを考えて欲しい。財政が逼迫といっても他のところでもいくらでも節約できると思う。言葉は悪いが不便になる郵便局を助けないければならないのか分かりません。早急に来年の3月にやらなくても、もうちょっと詰めてやってもいいのではないか。

担当理事

その点は十分理解しています。郵便局と話を詰めた上で、各地区に入りまして、住民の方々の要望を聞き取りながら対応、検討していきたい。

議員

郵便局とどういう交渉をするのか。

担当理事

住民票、戸籍、税の証明、印鑑証明、固定資産税等の収

納も可能です。70%くらいについては郵便局でも対応可能です。その他のサービスは低下しないような方法を考えればいいのではないかと思います。いろいろな話し合いを進めていきたい。

議員

分庁舎のサービス件数18年度5万2千07件、19年度4万5千9百7件。井田支所18年度1万9千57件、19年度2万1千500件。相野谷も井田支所と同じくらいです。本当に利用者が多いと思います。郵便局との話し合いはまだ入り口なのですか。

担当理事

鵜殿の郵便局長も交えて、今開いたところです。具体的にはこれからということになります。

議員

来年の4月1日と期限を決めないで、予算をとるのであれば補正でできます。もつとその前に出席者の少ない住民説明会よりも、住民に周知、納得してもらえるような方法を考えていただきたい。

町長

廃止をしていく上においては、それなりに代わるサービスを提供させていただく方法

を考えないと、やはりご理解もいただきた、いただけないと、私も思っておりません。現在、支所が行っている諸証明の部分については、電算化を図る上でFAX等で簡単にできます。税金の収納に關しても手数料も要らなくなってきました。100%という形にはならないと思いますが、ご理解いただける分はご理解いただけるような形の中でできるだけ早くそういったものを調整して、議会の皆様にもご相談をさせていただきながら、地域の皆様にもご理解いただけるような方法を取りながら、方向が決まりましたら、いきなりというのは難しいでしょうから、緩和期間を設ける中で両方の制度を利用していただいて切り替えていく、そういった方法についても考えていきたい。

議員

数字的に言うと、郵便局でカバーできない30%は、他の方法を考えるということですか。

町長

町も努力しますが、町民の皆様方にもご理解いただいて、ご協力いただけたるところにつ

いてはご協力をいただく中で、お互いが協力し合いながら行政運営をし、十分ご理解をいただけるように説明会等を通じて努力をしてまいりたい。

議員

お互いが理解と言われましたが、住民が理解ばかりして、住民が妥協するばかりで廃止になっていくような気がします。そこら辺は十分考えていただきたい。

町長

ご指摘の通りの部分も十分踏まえて、十分協議をさせていただいて、サービスの低下をクリアしていきたいと思えます。町民の皆様方にご理解いただけるように、努力していく必要があると思っております。

議員

民間に委託した場合の守秘義務についてどう考えているのか。

担当理事

取扱郵便局等との間で協定を交わしまして、個人情報情報の漏洩を防止するために必要な処置を講じていきたいと考えております。

※この他に、起債の件について質問がありました。



登立元吉議員
・政治課題について

政治課題

議員

農業問題について町長の所見の程をお伺いいたします。原油の高騰、農作物の燃料化等から世界的に穀物相場が急騰し、飼料作物を海外に頼っている畜産、また、水稻、柑橘同様に深刻です。本町の農家数（2005年資料）550。これを年齢別にみますと、70歳以上43%、60代28%、50代24%、50歳未満5%。19年水稻作経営収支を2鈔で試算すると、10鈔当たり2万329円の赤字。規模拡大を図

ってくれた方が100万円の赤字を出したとか。ペテランの農家がどうやっても赤字になってしまったと聞かされました。耕作者が少なくなる中で、できるだけ荒らさないようにと規模拡大を図ってくれた方が、4町、5町、6町、8町と。更に高齢者がリタイアしていく中で、さあ誰がやるのかです。サラリーマンが今月給料減ったよ、今月は遅配ですよと言ったら、奥さんはどう反応しますか。町長この現状をどう分析されますか。

町長

ご指摘の通り大変難しい問題でもあると認識しています。米価についても下落が続く中で、生産意欲の大きな障がいになっていくのではないかと思います。特に中山間地域においては、いろいろな制約があるわけですが、日本の国土全般から考えても、景観の保全、水の涵養といったこともあるわけです。そんな中で大変な努力をお掛けしていると認識しています。農業者の皆様方のご意見また指導を賜る中で、本町としても期待に添えるよう鋭意取り組みを進めたい。

議員

国にあつては、戦後一貫して化学的に合成された肥料及び農薬を使用する生産方法、つまり増産体制を取ってきました。公害等が問題となる中で、環境型とか、循環型とかの表現がされるようになってきましたが、それでも従来の延長に過ぎません。従来より、慣行型より化学窒素分の低減、農薬の低減を図るエコファーマーという制度ができました。輸入食品が問題になっています。国内生産はカロリーベースですでに40%を切っています。総生産量では更に低い数字でしょう。食の安全、食の安保が保たれるのだろうか。米は一粒たりとも輸入しないと国会で何度も決議したことは何だったのか。日本は工業国として輸出しなければならぬ。その見返りとしては農産物しか買うものがない。実に短絡的な感覚ですよ。その結果、危険な食品ということになってしまった。そんな中で、これからの私たちの食糧をどう確保していくのか。2004年11月、超党派の有機農業推進議員連盟が



総務財政常任委員会 現地視察

結成されました。議員立法として2006年12月6日参議院本会議で、8日衆議院本会議で有機農業の推進に関する法律として全会一致で可決成立しました。大変失礼で野暮かと思いますが、町長この法律ができていることはご認識ございますか。

町長

存じております。ただ内容については熟知しているということではありません。

議員

日本で有機農業という言葉が誕生して35年くらいと言われています。有機農業とは、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと、並びに遺伝子組み換え技術を利用しないということの基本として、農業生産に由来する環境への付加をできる限り低減した農業生産方式を用いて行われる農業と言われています。地方へ下りてくるのが遅れていますが、町長は賢明な方ですから下りてきたときには町ですでに受け皿ができています。この施策が講じれますといった先進的な考え方をお持ちいただけると思っています。

本町では生ごみの堆肥化が進められていますし、畜産業者もいます。更には国県の指導の下、農地、水、環境事業が取り入れられ、これも有機へのシフトが見られます。すでに、畑、水稲、柑橘等にも試みられています。これらをご認識いただいた上で、農業政策として町長どう取り組んでいかれる考えでしょうか。

町長

生産現場の農業者の方々のご苦労を理解していますし、消費者においても食の安全ということに機敏になってきていると思っています。ご指摘のようにこの有機農業の問題は的を射たものではないかと私も思っています。食の安全のためにはこの施策の展開は非常に大事になってくると思います。できるだけ先駆けて取り組んでまいりたい。

議員

この法律では地方自治体の役割が強く表現されています。有機農業は付加価値を付け、安全安心というキャッチフレーズが消費者に届けられるわけですが問題もある。それは肥料にしても高くつく。

農薬を減らす分、労力が要る。この辺に町はどう関わるのか。

町長

強い思いで進めてまいりたいと思っています。

議員

いいものを食べさせたい、いいものを購入したいという気があれば、これは生産現場と連動することであります。有機農業推進基本方針の中に、学校給食、化学物質過敏症、アトピー性患者等へ優先的に提供されるよう購入価格補助等も視野に入っています。給食米としてのレンゲ草による米は肥料で100%、農薬で約60%減、ヘリを使用しなければもっと減となります。優秀な有機農産物です。ところが従来のものと同価格では経費が掛かり、リスクを負ってやっていけないということで減ってしまいました。昨年の米価で出荷が更に減りました。いいものを食べさせたいということからすれば、価格面でも考えるべきではありませんか。必要量20トです。有機農業の先進町に名乗りを上げるべく町の農業政策としても、子どもたちにいい

ものを食べさせるという町長、教育長、皆様方の思いを叶えるということからしても一考すべきです。

町長

ご指摘の通り、生産者のことを考えると敬意を表したいと思っています。有機農業を推進していく上からも有効な手段を考えてまいりたい。



矢熊 達雄 議員

- ・東紀州地域の活性化について
- ・職員体制について

されたが概要について説明を。

担当課長

平成25年供用開始が見込まれる自動車専用道路を踏まえて、三重県南部には世界遺産をはじめ農林水産資源や観光資源に恵まれているが、幹線道路の整備が遅れているため、奥伊勢、東紀州地域の8市町の官・民が一体となった組織「紀勢道路整備に伴う地域活性化検討委員会」が平成18年に設立され、4分科会に分かれて地域活性化の議論を重ねてまいりました。

議員

内容について具体的に。

担当課長

地理的条件としては中京圏、関西圏から遠隔地であり、訪問者に対して情報発信不足、産業面については基幹産業である一次産業の衰退、若者の流出による高齢化、観光資源の発掘不足、受け入れ態勢の不十分等を踏まえ、統一イメージ部会、観光振興部会、町づくり部会、産業振興部会の議論によって、地域活性化の方策として、統一イメージを利用した情報発信、マイカー訪問客への対応、広域

観光の推進、新たな交流スタイルの促進、道の駅ネットワークの推進、中京圏事業者との連携促進の重点六施策を策定し、8市町が一致団結して推進していく協議会です。

議員

熊野市までの自動車専用道路供用開始まであと五年半しかないが、2年間掛けて課題を議論したとのことだが遅くはないか。紀宝町ではどうゆうことに取り組み、この20年度予算に反映されているのか。

担当課長

20年度において大台パークングエリアが設置される予定で、大台町、大紀町が物産販売等を行い、そこに各地域の情報、イベント等、情報が発信できる場も作っていきま

議員

このような取り組みでいいと考えるか。

町長

東紀州地域の認知度が低い

用していかなければと思っています。

議員

25年供用開始については期待をしているが、反面よく言われているストロー現象がおきることも心配される。名前を覚えてもらうのも大事だが、生産を伴った形でこの地域から打って出るという発想をして、農林水産物等、この自動車専用道路を活用しなければと考えるが。

町長

JA、漁協の方々の力も借り、地域の恵まれた資源と自然を活用しながら、地域の浮上発展のために取り組んでいく必要があると思っています。

議員

当町での具体化は。

担当課長

20年、21年で検討して、23年から25年に実施したい。

議員

全体の地域がよくならない

担当課長

協議会において地域の事情

も話をする中、提案をしています。道の駅、熊野川の体感塾での船の利用、主産業であるみかん等のブランド化など進めています。JA、漁協とは早く検討を進めてまいりたい。

職員体制

議員

理事が5名いるが、理事の立場をどのように考えて配置をしたのか。

町長

合併をした中でいろいろな事業展開をし、それぞれの地域の特性もあり、歴史、文化も違う中で、職員のまとめとして、適切に対処してもらうべく選任をしました。

議員

今まで見てきたが、課長兼務もあり立場とかがはっきりしないところが見受けられるが。

町長

決裁の部分においても、その立場において執行できる体制を整えています。これから理事等とも相談をしながら、明解なかたちで行政運営ができるように進めてまいり

議員

東紀州地域活性化

地域活性化について、市・町のトップ他、関係者の会議が開かれたと新聞紙上で報道

たい。

議員

合併をしてから2年余りをすぎたが、両町村の職員が各課、各職場で上手く機能しているか、保育所についてもどうか。

担当理事

それぞれの課において一緒に仕事をしています。

担当課長

保育所の人員配置ですが、昨年より旧紀宝、旧鵜殿関係なく職員の配置をしています。今年度においても異動を考えています。

議員

合併をして1万3千人弱の規模になり、町長もかなり忙しいのでは、出張はどれくらいか。

担当理事

尾鷲以遠については年間64日、熊野市、南牟婁郡、新宮市を含めると113日です。重なる場合は収入役が出席しています。

議員

職員のトップが必要では。

町長

理事ともども業務の遂行に支障のないよう努めてまいりたい。



門脇庸二議員

・大綱説明及び諸報告について

— 大綱説明及び諸報告

議員

行財政改革大綱について、行財政の基礎を固めるとあるが、具体的にはどういうことなのか。

担当理事

行財政の基礎を固める施策なのですが、行政活動の体制を見直すということです。行政と住民がそれぞれの役割分担を認識することから始めていく必要があると考えております。

議員

大綱説明の中で、自治体が

本来あるべき姿を再認識しとありますが、あるべき姿と言う考え方というか、それは何をもってあるべき姿と言われるのか、具体的におっしゃっていただきたいと思います。

担当理事

自治体の本来あるべき姿を再認識するということは、住民にとつての行政サービスのあり方は、広くどのような形で、どの程度まで必要なのか。従来進めてきたサービスそのものを再検討する必要があるということであります。それによつて、行政運営の体制、組織とか機構を築いていくと。職員の仕事に対する考え方、また、その方法を改めて、行政そのものの品質を高めていくということになると思います。

議員

財政基盤の強化を重要課題とありますが、同僚議員の質問で19年度の数字はお聞きしましたが、当然、20年度末の目標、数値目標というのが、なければならぬのじゃないかと。今、この紀宝町の財政は金属疲労をおこして、硬直化になっているということ

は、当局もお認めいただいております。合併特例債が10年でされるわけで。10年後のあるべき姿を想定し、当局の方も数字をおっしゃっていただいております。20年度においても目標を掲げ、20年度の予算編成をされていると思います。この20年度末の数値目標をお聞かせください。

担当理事

行財政改革大綱に基づく実施計画を、今から定めていくわけなのですけれども、これによつて、数値目標を設定していくことになります。行政改革推進委員会におきまして、数値で明確に示すことができる項目については、可能な限り示すべきであるとして協議いただいておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

議員

この行財政改革大綱なるものについて、計画期間は、19年度から22年度の4年間ですね。当然、この20年度末の数値の努力目標を念頭において予算を編成されていなければいけないのではないですか。例えば、年度末の数値というものをどこへ想定し、考える

中で、予算を組み立てていくのではないかと思います。改革するための努力は年々の予算に反映しているのか疑問に感じます。今回、所信表明、行財政改革大綱、それに基づいて、当局の考え方を、20年度予算編成に、具体的にどのように反映されているのか。

町長

議員ご指摘のように、行財政改革をこれから進めていかなければならないわけでありますけれども、この行財政改革に関する部分の数値目標につきましては、これから議論をさせていただくという段階でございます。現在のできる部分に自助努力をして、人に言われる前に進めていかなければならないと思っております。それらに向けての取り組みは鋭意進めているところでございます。合併という一つの出来事向かえて、これからの10年、20年、30年、将来を見据えた形の中で、これからのまちづくりに向けての地盤をしっかりと固めていく。そういった中で、補助なり、起債なり有効利用する中で、これからの健全な経営に向けて努力してまいりたい。



議員

合併して、初代の紀宝町長として、将来の紀宝、やはり、その熱い思いの中で、この紀宝丸というものが、航海に出たわけですから、やはり、良き港へ、良き船長のもとで、紀宝丸を航海していただきたいと思います。それは町民も願っております。

町長

議員ご指摘のように、2年前、新しいまちの行財政の運営について、しっかりとしたい思いの中で、強い気概をもっていくということ、は、町民の皆様方にもお示しをさせていただきました。財政的にもきっちりとした基盤を固めて、これから町民の皆様方に本当に喜んでいただけるような安心安全で生活できる、そういったまちづくりをしていく必要があると思いますし、強い気概をもって賢明な努力をしてまいりたい。

議員

学校教育の充実に関して、お訊ねいたします。12月議会では、学力テストは大事なことで、あるけれども、学校教育の中で、それ以前に大切なこ

とはないかということで、挨拶の問題と先生の服装の問題についてふれさせていただいております。教育長が、12月議会のあと、各学校へメールでお知らせをしたら、大変な反響がおりたのだったというのですが、どういう反響だったのか。そして、服装について、どのように学校の方へ指導徹底されているのか。それと挨拶について、先生方、自らの挨拶、これらについてどのように現場の方でなされているのかということが、教育長自身把握されているのかどうか、お訊ねします。

教育長

メールで、議会で議員より意見がありましたということ、各校長へ全部ながさせていただきました。その後、校長会等で、この話が出て、服装や挨拶について疑問をもっている場合があるということ、私はすぐさま、そういう疑問があるならば、すぐ指導しなければいけませんよという話をさせてもらいました。やはり、学校によって、あるいは講師によって、あるいは児童生徒の人数が多いとか、

そういう学校のいろんな雰囲気があるって、その中で多少違ってくる場合がございます。学校に行くときにはこういう服装。そして挨拶はきちきちととする。そう一律にはなっていないと、私は認識しております。行政としまして、責任者として、先生方の服装及び挨拶等につきましては、指導していきたいと思っております。

議員

成川小学校の耐震診断について、本来ならば、木造校舎で築後48年経過しており、地震がきた場合は倒壊の危険がある。本年度耐震診断を行うということ、成川小学校の将来、そういうことを考え合わせた中で、耐震診断をして、今後どうしていくかということ、は、当然頭の中でなければいけないのではないのか。その辺の将来展望についてはお考えいただいておりますのか。

教育長

教育委員会としては、何の先入観も持たずに、耐震診断をしようという考えです。

※この他に、町営浄化槽整備事業の件について質問がありました。



第1回定例会

可決された議案

- 平成19年度一般会計補正予算
- 平成19年度特別会計補正予算（4特別会計）
- 教育委員の選任同意
 - ・ 教育委員に山中富行さん（神内）を選任することに同意しました。
- 工事請負契約の締結（本庁舎増築事業 紀宝町庁舎増築工事）
- 紀宝町後期高齢者医療に関する条例の制定
- 紀宝町特別参与の設置に関する条例の制定
- 紀宝町職員の給与に関する条例の一部改正
- 紀宝町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- 紀宝町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 紀宝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- 紀宝町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
- 紀宝町国民健康保険条例の一部改正
- 紀宝町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
- 紀宝町立診療所条例の一部改正
- 紀宝町立診療所使用料及び手数料条例の一部改正
- 紀宝町浄化槽整備推進事業に関する条例の制定
- 紀宝町浄化槽整備推進事業契約の締結（循環型社会形成推進交付金事業）
- 紀宝町特別会計条例の一部改正
- 紀宝町浄化槽整備推進事業特別会計基金条例の制定
- 平成20年度一般会計予算
- 平成20年度特別会計予算（7会計）
- 人権擁護委員の推薦について意見を求めること
 - ・ 人権擁護委員に寺本紀美代さん（鶴殿）を推薦することに同意しました。

編集後記

5月の中旬、3月の議会だよりを書いている。先日、ある地方紙に紀宝町の「ほたるを守る会」が田代公園近くへホテルのエサの「カワニナ」を放流したと出ていた。私も井田の田んぼのせんだく川に、ホテルが出てくるのを待っている。子どもたちが遊ぶとき、草が茂っていては、「ハンビ」や「ムカデ」に噛まれては大変と、年に数回草刈をしている。みぞ川をあらけると、メダカや小魚がよく見えてしまい、逆効果の面もあるが、かわいい子どもたちがケガをしては、一大事である。子どもの頃は6月の中旬が田植えであった。5月のちようど今頃は大雨で水が出ると、田んぼの中へナマズやフナが卵を産みに入っていた。今の子どもたちにもそんな光景を残してあげたいものだ。

（文責 阪本）

「議会だより」（第8号）

編集委員

矢熊 達雄 阪本 守央

大石 洋